

とよなか都市創造研究所
令和6年度（2024年度）調査研究報告会 開催案内

1. 目的

とよなか都市創造研究所において令和6年度（2024年度）に実施した調査研究成果を報告します。報告会は、都市政策に関する問題等について市民や市職員の認識を深め、市民の市政に対する理解並びに市職員の政策形成能力の向上を図ると同時に、本市の地域資源を再確認し、これからの地域づくりを考える機会として実施するものです。

2. 主催

都市経営部とよなか都市創造研究所・総務部人事課

3. 日時

令和7年(2025年)6月27日(金) 14:00～16:00

4. 場所

地域共生センター大会議室（中桜塚 2-28-8）

※駐車場はございませんので公共交通機関でお越しください。

5. 講師等

報告：とよなか都市創造研究所職員

講演：国立研究開発法人医療基盤・健康・栄養研究所
身体活動研究部 部長 小野 玲 氏

6. 対象

- ・市民 10人（先着順）
- ・希望する市職員

7. 申込み

令和7年6月23日（月）までに電話・メール・電子申込システムいずれかの方法でお申込みください。

とよなか都市創造研究所 電話 06-6858-2376

Mail toshisouzou@city.toyonaka.osaka.jp

電子申込システムは、こちらのQRコードから→



8. 内 容

令和6年度の研究所調査研究報告及び有識者による講演

○調査研究報告：「豊中市の子どもの学びと育ちに関する総合的な調査研究Ⅱ」

研究所では、「豊中市のすべての子どもの可能性・チャンスの最大化」を目的に、令和5年度～7年度の3年間のプロジェクトとして、標題の調査研究に取り組んでいます。2年目の令和6年度は、アンケートデータや行政データを用い、教育や健康など子どもに関する格差の現状を把握することに加え、学力や健康等の経年変化を分析しました。報告会では、調査研究成果の概要を研究員から報告します。

○講演：「学童期における身体活動・運動の重要性～調査データの限界と行政データ活用の有効性～」

近年の研究では、学童期に身体活動・運動を行うことで、将来の生活習慣病予防だけでなく学童期の精神状態や学業成績にも好影響を与えることが、明らかになりつつあります。しかし、スポーツ庁が発行している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」においては、年々身体活動や・運動習慣が減少していることが報告されています。本講演では、学童期の身体活動・運動を行う重要性と現在の学童期の子供達の現状について情報共有するとともに、調査データの限界と行政データ活用の有効性について理解を深めます。

9. プログラム

時 間	内 容
14：00～14：05	開会挨拶
14：05～14：40	令和6年度研究報告「子どもの学びと育ちに関する総合的な調査研究Ⅱ」
14：40～14：45	質疑
14：45～14：50	休憩
14：50～15：50	講演「学童期における身体活動・運動の重要性～調査データの限界と行政データ活用の有効性～」
15：50～16：00	質疑